

臨床研究に関する情報公開

「穿孔・穿通を伴う大腸癌に対する治療成績の検討」へのご協力をお願い

当院の研究責任者

外科 加藤憲治

他の研究機関および各施設の研究責任者

なし

研究の対象

当科で切除した大腸癌の患者さんのうち穿孔・穿通を伴っていた症例が対象です。

研究目的・方法

下部消化管穿孔は腹膜炎から DIC（播種性血管内凝固症候群）へと進む重篤な疾患であり、緊急の対応を要します。一方で穿孔の原因が大腸癌であった場合、その根治性を考えた治療戦略も必要となり、定型的な手術とは異なる点が多くあります。そこで当院で経験した穿孔を伴う大腸癌の治療方法と成績について検討し、今後の診療に利用することを目的としました。

研究に用いる試料・情報の種類

検査所見やカルテ記載、病理組織所見等の診療情報

外部への試料・情報の提供

ありません

個人情報の取扱い

研究に使用する情報から個人を特定できるものは削除します。学会および論文発表において対象者を特定できる個人情報は一切使用しません。

研究資金源・利益相反

ありません

お問い合わせ先

0598-21-5252 加藤憲治